

図書館のおしごと紹介

ハンディキャップサービス 第7回 (郵送貸出)

図書館には目の不自由な方にご利用いただける資料があります。本に書かれた文字などを音訳して作成した録音図書や点字の本などです。しかし、目の不自由な方にとって図書館まで出かけることはとても大変です。そのため、電話やメールなどでリクエストをいただき、郵便でご自宅までお届けする郵送貸出を行っています。返却も近くの郵便局やポストに返すだけで、郵送料もかかりません。利用されている方からは、安全に自宅にいながら好きな本を『聞ける』とご好評をいただいています。もし、皆様の身近に目の不自由な方がいらっしゃいましたら、ぜひこのサービスをご紹介ください。(ご利用にあたってはハンディキャップサービスの登録が必要です。)



●催しは予約制です

中央図書館の行事予定

- 7月 21日(日) 図書館員体験ツアー
24日(水) 図書館探検隊
27日(土) 怪談朗読会
30日(火) 科学遊び
- 8月 18日(日) 図書館員体験ツアー
21日(水) 図書館探検隊
24日(土) JAXAがきた! 2013宇宙の話
- 9月 21日(土) 音楽会
22日(日) 図書館ガイドツアー

OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機(OPAC)のご案内です。触ったことのない方でも大丈夫!マンツーマンで行います。検索機は資料探しに欠かせません。入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。毎週水曜と最終週の日曜、午後2時~3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

押立図書館業務縮小のお知らせ

押立図書館は、押立文化センター改築に伴い、平成25年9月2日(月)から平成27年2月中旬まで仮設事務所に移転します(平成25年8月31日、9月1日は休館)。なお、移転中は月曜~金曜日の午後1時~午後5時まで、次の業務を行います。実施業務—リクエスト(予約)資料の受付・貸出と返却 ※閲覧できる図書資料はありません。移転先—押立町公園南側(押立町4-17)

掲示版

今年もぜひ! 地区図書館の雑誌リサイクル

お知らせ その1

保存年限を過ぎた雑誌を、市民のみなさまにご提供します。
▽日時 7月7日(日) 午後1時から4時。
※8日(月)から21日(日)は、初日の残りの資料を各館内でご提供し、なくなり次第終了です。
▽会場 各地区図書館にお問い合わせ下さい。
▽持ち帰り冊数 おひとり12冊まで。手さげ袋をご用意下さい。
※初日混雑時は、先着順に時間を区切って入替制とします。

夏の読書キャンペーン 「この本よんだかい?」

お知らせ その2

夏休み期間に夏の読書キャンペーンを行います。貝のかたちのカードに好きな本のことを自由に書いていただき掲示します。参加者には1枚ぬりえをプレゼントします。あわせて、夏休みのおすすめ本の展示、リストを配布します。
▽期間 7月20日(土)~9月1日(日)
▽場所 中央図書館 3階児童室
▽テーマ この本よんだかい?

科学遊び 「はーん?反射ってなんだろう」 ~水の万華鏡をつくろう~

お知らせ その3

凸面鏡や自作の青銅鏡などをつかって、光の反射の実験をします。
▽日時 7月30日(火)午後2時から4時まで
▽講師 坂口美佳子先生(科学読み物研究会会員)
▽場所 ルミエール府中 1階会議室
▽対象 小学生 40名
▽お申し込みは7月1日(月)から

臨時休館(蔵書点検)のお知らせ

お知らせ その4

蔵書点検のため、次の日程で休館します。
▽四谷図書館 7月1日(月)~7月3日(水)
▽押立図書館 7月1日(月)、7月2日(火)

お問合せ

府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>

府中市 図書館 だより

第26号

平成25年6月30日
発行 府中市立図書館

市内おすすめ蓮見スポット

郷土の森公園・修景池
寿中央公園・ひょうたん池

【参考資料】

- ・大賀一郎「観蓮節餘滴 蓮の開花音論争一瞥」『武蔵野』第23巻第7号(蓮号) p.71~89
- ・大賀一郎「ハスの開花音」『ハスを語る』忍書院 p.99~123
- ・蓮文化研究会編著「蓮の花は開くとき音がする?」『蓮100の不思議』出帆新社 p.32~33
- ・三浦功大「蓮の花は開く時、音を出すのだろうか?」『蓮への招待』西田書店 p.62~75
- ・長島時子「ハスの花が咲くとき音がする?しない?」『蓮の話』1996年夏 かど創房 p.98~101
- ・柴田南雄「ハスの開花音」『花の名随筆7 七月の花』大岡信/監修 作品社 p.191~193

蓮の花は開くとき音がするの?

今年は大賀一郎博士生誕130周年。図書館の大賀蓮も夏の日差しを浴び、かわいい花が咲きました。ところで「朝、蓮の花が咲くときにぼんと音がする」こんな話を聞いたことありませんか?俳句や詩歌などにも盛んに蓮の開花音が詠まれています。

長い間、蓮を研究していて、一度もその音を聞いたことがなかった大賀博士。1935年(昭和10年)上野不忍池に咲く蓮の花にマイクを取り付け、科学的に実証実験を行いました。その結果、

蓮の花が咲くとき音はしなかったのです。

でも、今でもやっぱり信じている人は多いようです。観蓮会にでかけると誰かしら音の話をしていました。ただ大賀博士はハスの開花音を疑わしき存在としつつ、こんなふうにも言っています。

「私は折角二百年の永き伝統を有する、暑い夏の、美しく涼しい伝説なる、このハスの開花音を否定し去ろうとは、毛頭思っていない。(中略)夏の花の太宗たるハスの開花音伝説を、うるわしき風流音の物語としてのみ、永久にわが民俗の間に残存せん事を希望してやまないのである。」

この夏、早起きしたら市内の蓮池にてかけて、そっと耳を澄ませてください。蓮の花が開く音、あなたには聞こえるでしょうか?



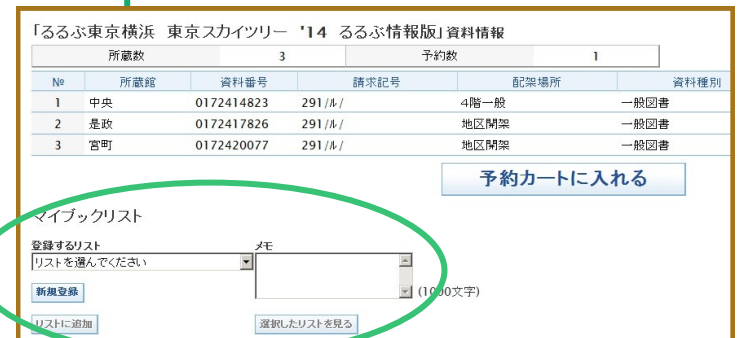
郷土の森公園・修景池に建つ大賀博士の銅像

マイブックリストをご利用ください

インターネットサービスをご利用の方、マイブックリストという機能があるをご存知でしょうか?資料の貸出記録は返却された段階で削除されてしまうため、自分が借りた本のデータを保存できると便利です。ほかにまだまだ読んでいないけど気になる資料をメモしたり、お気に入りの資料を記録したりと用途は様々です。

最初の手続きはログイン後、貸出・予約状況照会と同じ行に表示されるマイブックリストをクリックし、リスト名を作成します。次に資料を検索し、「検索結果書誌詳細」の下部よりマイブックリストへ登録します。リスト名を作成しておく、次回からスムーズにリストに登録することができ

ます。なお、ご利用いただける方は市内在住または在勤・在学でインターネットサービスに登録されている方に限ります。ぜひご活用ください!



連載
企画

府中の道

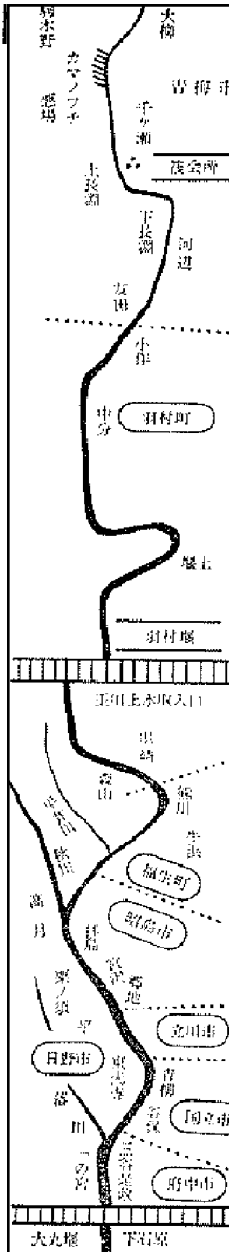
品川街道

西武多摩川線の白糸台駅の南側を走る品川街道は、府中市に武蔵国の国府がおかれた時代に、相模国の国府からきた朝廷の使者が再び東海道へ出るために通った、官道の脇道でした。彼らは大國魂神社随神門の前から東へ崖（ハケ）の上を通り、常久村の一里塚を過ぎたあとは飛田給（調布市）の薬師堂、狛江村和泉（狛江市）の泉竜寺、喜多見の慶元寺、瀬田、等々力（以上世田谷区）などの各宿場を経て、品川区立会川付近で東海道に出、東京湾沿いを北上して下総の国府へ向かいました。

また、この道は別名「筏道」とも呼ばれ、これは多摩川上流から筏に乗って江戸まで川を下って行った筏師たちが、ここを歩いて帰ったことに由来します。『奥多摩町異聞』によれば、元禄（1688-1703）の頃にはすでに、こうして多摩川を下った青梅材が「近在物」として江戸市中の建設需要をまかなっていたそうです。材木は現在の青梅市沢井地区の河原で筏に組まれ、筏師たちは羽田の浦（現大田区六郷）あたりまで、順調にゆけば4日ほどで到着、往復で7日間が決まりでした。当時は府中辺りの多摩川岸に筏を留め置く場所があり、市内にも筏師を泊める特定の宿、「筏宿」が軒を連ねて栄えていました。

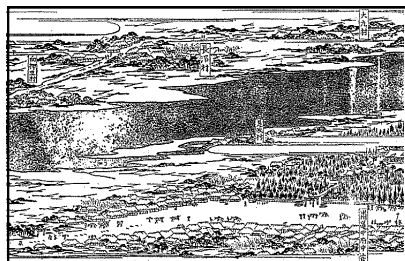
この筏流しの長い伝統に終止符が打たれたのはそれほど昔のことではありません。明治27（1894）年の青梅鉄道敷設、大正に入ってからはトラックの利用増加の影響を受けつつ、規模を縮小しながら大正末年、今から87年前まで230年以上続きました。

千数百年の昔には、国府の在庁官人たちが馬上悠々風に吹かれながら宿場から宿場へと長閑な旅を続け、江戸時代には筏師たちが一仕事を終えて賑やかに家へと向かった品川街道。現在は宅地造成や新道の開発により街道全体を線として捉えることは困難ですが、この道を通る際にはその長い歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



『続 多摩』米光秀雄/著 武蔵書房より
「筏流しの川」

【参考資料】
『いしぶみ草紙』
『奥多摩町異聞』
『続 多摩』
『調布こぼれ話』
『府中の風土誌』
『ふるさとの道』



府中宿付近（調布玉川絵図より）
『続 多摩』米光秀雄/著 武蔵書房より

「和尚と小僧」ぼた餅は本尊様 三」
（お彼岸や命日などには、ぼた餅を持って寺へ行き、本尊に供えるという話から）
和尚さんがいねえうち小坊主がいて、食べたくっ
てしやうがねえから、ひとつまんんで食ったわけです
ね、小僧が。
そこで小僧が、あんこだけね、本尊様の口へな
すつといたつてんだ。
そうすると和尚さんが帰ってきてね、どうも重
箱に詰まってるぼた餅の配置が悪いから、おめえ小
僧食つたらうたら、わたしや食やしねえってね、言っ
たところが、それは本尊様が、和尚さん、食つたんで
すつて言うんだ。
見てごらん、本尊様の口にあんこがくっついてると。
てやったら、和尚さん、この本尊様太え本尊だつちゅ
うとこでね、庭へ釜出して釜ゆでにするってわけだ。
で、小僧が火燃やしてやっただ。
はじめは、湯が煮立ってきたてクッタ、クッ
タクッタ、クッタ湯気が沸騰、湯がして、
クッタクッタつて本尊様が煮えてった。
ほれ和尚さん、本尊様がクッタクッタつて
いつてますつて。
じゃあこの本尊ぶんなぐれつてね、本尊様
をなぐつたら、そうしたら本尊様金で
きてんですよ。
で、ながく空洞だ、クワンクワンて
いつたつていうような、そういう、本尊様
食わなかつたつてこいう、そんな簡単
な話ですけどね。

出典
『府中の口伝集』p289
（府中市立郷土館／編 府中市教育委員会 F388／10／フ）

赤ちゃん絵本7千講座

赤ちゃん向けに簡単にかわいらしく描かれている本が、赤ちゃん絵本…って思い込んでいませんか。実は何世代もの幼い子たちに長く読み継がれている作品は、かわいらしく描かれているものばかりではありません。

『くだもの』（平山和子/作 福音館書店）
写実的で、いかにも美味しそうに描かれている絵本です。子どもの月齢によっては、実物よりも先に本の中で出会う果物もあるかもしれません。知らないことばかりの世界で生活している子どもにとって、知っているもの、見たことや触ったことがあるものが目の前に現れた時の喜びは、大人の想像以上に大きなものです。この本は、そういう喜びを本をとおして子どもに体験させることで、本に対しての親しみを抱かせ、同時にそれを自分のために読んでくれる大人への信頼感を強める力を持っています。赤ちゃん絵本は、最初から順番に読む必要はありません。お子さんの気に入ったページを繰り返し好きなだけ読んで、まず「本」という存在を丸ごとお子さん楽しんでもらいましょう。



でも、せっかくだと読んでいるのに、子どもが手を伸ばしてページをめくってしまう…と悩んでいる方。実はページをめくめることも、読書に必要な技術のひとつです。お子さんはまさに今、本の世界へ最初の一步を踏み出すところですから、あたたかく見守ってあげてくださいね。



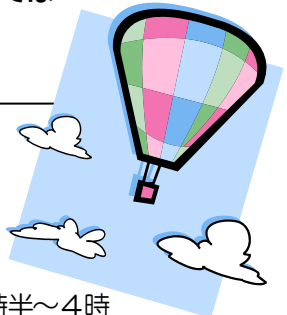
『くだもの』平山和子/さく 福音館書店

おはなし会の日程 7月~9月

ご案内

- **〈おはなしの森〉**
- **中央図書館**
日時／7~9月の第2・4木曜日
午前10時半~11時
対象／1・2歳児と保護者
☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。
- **地区図書館**
日時／地区館「おはなしの森」と同日の
午前10時半~11時
（四谷図書館のみ7月3日、8月7日、9月4日(水)）

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。



- **中央図書館**
日時／
①7~9月の毎週木曜日 午後3時半~4時
②7月6日、8月3日、9月7日(土) 午前11時~11時半
対象／3歳~小学生（保護者同伴可）
- **地区図書館**
日程／
押立図書館——7月3日(水)
宮町図書館——7月3日、8月7日、9月11日(水)
四谷図書館——7月4日、8月1日、9月5日(木)
白糸台・西府・新町・片町図書館
——7月10日、8月14日、9月11日(水)
是政図書館——7月11日、8月8日、9月12日(木)
武蔵台図書館——7月18日、8月15日、9月19日(木)
生涯学習センター図書館
——7月24日、8月28日(水)
住吉・紅葉丘図書館
——7月24日、8月28日、9月25日(水)
- **時間と対象／**
午後3時半~4時／3歳~小学生（保護者同伴可）
（新町のみ午後2時半~3時）

夏のおたのしみおはなし会

中央図書館では、3歳~小学生を対象として読み聞かせを行っています。夏のおはなし会では、絵本や昔話、手遊びなど、いろいろ催します。手作りのプログラムの配布もします。当日、ぜひ会場にいらしてください。（申込み不要、先着30人）

▽日時 8月1日(木) 午後3時半~4時半
▽会場 中央図書館 おはなしのへや
▽対象 3歳~小学生